

令和4年度 第1回利尻富士町総合教育会議 議事録

1 開催場所及び日時

- (1) 日時 令和5年3月24日(火) 午後3時15分～4時7分
- (2) 場所 利尻富士町役場2階 庁議室

2 出席者氏名 ※欠席者なし

【町長部局】

利尻富士町	町長	田村 祥三
	総務課長	今野 英尋
	総務係長	山本 博文

【教育委員会部局】

利尻富士町教育委員会	教育長	吉田 秀昭
	教育委員	佐藤 吉郎
	教育委員	寺島 信宏
	教育委員	山澤由起子
	教育委員	成田 明美
	次長	山谷 文人
	係長	川端 ひめ

3 傍聴者 なし

4 議題

- (1) 利尻富士町教育大綱(2021年度～2023年度)推進状況について
- (2) 小中一貫教育について
- (3) 教職員の働き方改革について
- (4) いじめ事例の報告について
- (5) その他

5 会議の内容

別紙のとおり

【会議の内容】

1 開 会（今野課長）

2 町長挨拶（田村町長）

平成28年2月に1回目を開催以来、7年目。当時いじめ等社会的に問題化し始まった経緯がある。新制度になって以来、首長が対応することも必要となった。普段の教育委員会でも協議されていることが多いと思うが、委員のみなさまと円滑に会議が進むようお願いしたい。

3 説明・協議事項（進行：田村町長）

（1）利尻富士町教育大綱（2021年度～2023年度）推進状況について（資料1：次長）

大綱の目標は大きく分けて3つで、表のとおり目標別となっており、主な施策を実施した。

1 未来を生き抜く子供の育成

- ・指導工夫改善加配教員による算数・数学の小中連携乗り入れ授業
- ・小中併置校における中学校教科担任の小学校乗り入れ授業（英語、理科）
- ・ALTの継続配置による外国語教育及びコミュニケーション能力の推進
- ・小中学生の漢字・算数（数学）・英語検定受検料の助成、利尻高校模擬試験への助成
- ・定期的に緊急時を想定した避難訓練や一日防災学校（全校）
- ・学校支援地域本部を通じた人材派遣等による授業や部活動支援
- ・特別支援学級の適正配置（R4：利小 言語学級開設）
- ・特別支援教育支援員の適正配置（R4当初：駕小2名、利小1名）
- ・特別支援学校通学等助成事業（R4：1件）
- ・コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の開催（各地区年2回）

2 子供の学びを支える教育環境の整備と支援の推進

- ・教職員住宅の計画的整備（R4：駕泊・鬼脇地区各1戸建設）
- ・スクール・サポート・スタッフの採用（R4：駕小1名、駕中1名）
- ・デジタル教科書実証事業による教科支援（R4：小5.6 英語、社会、地図、中学生 英語、地理、地図、公民）
- ・学校デジタル化推進協議会による教員のICTスキル向上のための研修（プログラミング教育、デジタル教科書）
- ・2023年度からの小中一貫教育の導入準備（先進地視察、校長・教頭・教職員との協議、説明、情報共有）
- ・栄養教諭による食育指導（定期学校巡回）

- ・通学路の安全確保に対する建設課等との連携（R4：合同点検未実施、除草・除雪情報の共有）

3 生涯学習の充実と文化・スポーツ活動の振興

- ・町文化協会、文化団体活動への支援等
- ・石崎海底電線陸揚庫の調査、測量、公開（現説、フォーラム）
- ・老朽化してきているが、体育施設等の適正な維持管理

【質疑なし、承認】

（2）小中一貫教育について（資料2：教育長）

3月14日に鴛泊地区説明会を実施。新聞報道では、鴛泊地区のみのようなニュアンスであったが、鬼脇地区も含めた町全体として進める。

りしり富士小中一貫教育の構想図。めざす子ども像と4つの基本方針を掲げている。子どもの資質能力向上と小中間の先生方の連携と意識改革が重要。

教育委員会として、学校管理規則を改正。

- ・3学期制→2学期制
- ・教育課程を小中間で編成できること。鴛泊地区は鴛泊小・鴛泊中で、鬼脇地区は利尻小・鬼脇中で（それぞれ中学校併設型小学校、小学校併設型中学校とよぶ）行う。
- ・夏冬の長期休業を50日以内で統一

道内で、小中一貫教育を進めているのは24市町村、宗谷では当町が初めてなので注目度はあるかと思う。

中学校に入っすぐ文協テストがあるため、つまづくケースが多くモチベーションが低下し最初の壁となるようだ。その対策として中学校から小学校への乗り入れ授業などを講じてきた。

5年度からは、鴛泊小5・6年生が、鴛泊中の空き教室で英語の授業を受けられるよう、ALTにも入ってもらいながらICTもミックスさせて行う。管内・道内でも事例なく、小学校の先生にとって午後の時間が空き、授業の教材研究に時間を割くことができ働き方改革につながる。小中間の授業時間が違うので、部分的に合わせられるよう工夫。鴛泊では運動会の同日開催を行ない、小学生が中学生の考えた競技に参加など垣根を越えた活動が実現。小中教員の合同研修を行う。小学校で身に付けた力を確実に中学校で生かせるようにする。小中一貫教育に着地点はなく、5年度進めながら、充実させていきたい。また昨年、導入に向けて先進地視察をさせていただき、その成果として導入に確信が持てた。

（町長）義務教育学校と小中一貫教育学校の違いは。

（教育長）義務教育学校は、小中に区切りのない9年間を通した統一した教育を行なう

ことができる。

(町長) 例えば、鬼脇は校舎が一体なので、P T Aなどから声が上がれば変えることも可能なのか。

(教育長) 都市部で、複数の中学校がある地域で小学校が1つしかない場合など、義務教育学校にするケースもある。

(町長) 稚内中央小は、義務教育学校になるようだが。人口減に伴い、そういう学校が増えていくのだろうが、明確な違いがわかりづらいところがある。

(教育長) 老朽化した校舎建替のために義務教育学校にする場合が多い。駕泊は校舎が別々、鬼脇は校舎が一緒に小中一貫教育を進めるが、校舎が一緒でも小と中で意外とバラバラな面もあり、統一したい。

【質疑なし、承認】

(3) 教職員の働き方改革について (資料3: 次長)

当町には、アクションプランⅡ(令和3~5年度)という方針がある。改革を進めるための目安となるもの。

目標として、教職員の在校等時間を減じていくこと(1か月で45時間以内)。

アクション1 本来担うべき、子どもとの授業に専念できるようICTや地域人材の活用。

アクション2 部活動の地域移行については、令和7年度までに実現できるよう叫ばれているが、限られた人材や種目の中、地域でどのような対応ができるのか、学校運営協議会や指導者と協議していきたい。

アクション3 夏冬休み(年末年始、お盆等)に学校閉庁日を設定。校務支援システムを活用した時間外の把握。町ホームページ等でも公開予定。各校、留守電を導入し、勤務時間以外は留守電メッセージが流れる設定。

アクション4 道からさまざまな調査等のメールが日常来ている。精査、見直しながら進めたい。

【質疑なし、承認】

(町長) 地域の理解も深めていきながら進めてほしい。現状としてはどうなのか。

(教育長) なかなか月45時間で収まる先生は少なく、経験の浅い先生や担任などはどうしても超過する傾向。

(佐藤委員) この問題が出てきてから意識しているわけではないが、学校の周辺を通ると電気が消えている日も見受けられるので、早く帰れているのかなとも思う。

(教育長) 持ち帰りしている先生は多いのではないか。

(町長) 教育委員会でも調査のメールを精選するなど、教育関係全体で業務量を減らしていく努力が必要であろう。

(4) いじめ事例の報告について（別冊報告書：次長）

教育委員会等でも経過を報告してきたが、令和3年の事例について、作成の事例報告書では、本事案を重大事態ではないと判断したが、報告書の内容や関係者のみで作成されたことから、中立的立場である第三者の担保がないこと、被害・加害双方に対し最終的な報告がなされていないこと、2点について宗谷教育局を通じて道教委より指摘を受けた。

したがって、第三者（育英館大学 但田勝義教授）に、事例報告書の検証ならびに関係者への聞き取りなどを行なっていただき、調査報告書を作成いただいた。第三者の検証により重大事態ではないと判断されている。

調査報告書を受領後、被害・加害双方に事例報告書および調査報告書について、意見書を付し送付したが、期限までに双方からの意見はなく、町長に報告を行なった。その後、道教委へも報告書を送付し、事案の完結をみている。

報告書にあるとおり、本件については完結しているものの、再発防止への提言をいただいている。

【質疑なし、承認】

(5) その他

(次長) コミュニティ・スクール（学校運営協議会）について、構成員は自治会や社会教育委員、部活動指導者で年2～3回ほど会議行なっており、小中一貫や地域との連携のカギとなるもので、学校経営や方針を承認する組織となっている。

(教育長) 利尻高校、令和6年度より商業科間口減となり、1年生は通年普通科目、2年目から情報処理など商業科目を追加、3年目からコミュニケーション系科目、遠隔での数学を行なう予定とのこと。

(町長) 先日の利尻高校の学習成果発表会に招かれた。1、2年生5班の発表で、町政や観光などに関する提言で、高校生なりの考え方にふれることができた。地域活性化企業人など、自分で調べて知っていることに感心。

1年に1回の会議だが、次回はなるべく早めに開催できるように設定したい。

以 上

（議事録作成者：教育委員会次長 山谷 文人）